教育委員会定例会（平成２０年７月）会議録

１．日　　時	平成２０年７月３日（木）　１６：００　～　１７：１５
２．場　　所	新居浜市庁舎　３階 応接会議室
３．出　席　者	委員長　栗田敬子 委　員　小野正師　宇野征一　太田恵理子 教育長　阿部義澄 総括次長　日野　清 次　長　真鍋智明　髙橋康文 課　長　近藤清治　村上久和 館　長　坂本睦美
４．教育長の 一般報告	（１）６月分行事報告及び７月分行事予定について
５．記録者氏名	社会教育課　日野里美
６．会議の概要	＜報　告＞ 教育長の一般報告について ＜議 案＞ 議案第２４号　新居浜市市民文化センター運営審議会委員の委嘱又は任命について（原案可決） 議案第２５号　新居浜市社会教育委員の委嘱について（原案可決） ＜その他＞

桒田委員長	それでは定刻がまいりましたので、平成２０年第７回新居浜市教育委員会定例会を開催いたします。会期は本日限りといたします。本日の会議録署名委員は、宇野委員さんと小野委員さんにお願い致します。平成２０年第６回の定例会の会議録のご署名は、宇野委員さんと太田委員さんに頂いております。 それでは教育長さんの一般報告からお願い致します。
阿部教育長	それでは、一般報告を行います。資料の２ページをご覧ください。６月の主な行事についてご報告いたします。 ８日　日本古来の伝統文化でもある「将棋」を通じての親・子・孫の３世代交流が可能な、第１５回新居浜市小中学生将棋大会・全国中学生選抜将棋選手権愛媛県大会が開催され、約１２０名の選手たちが熱戦を繰り広げていました。 平成１８年から取り組んでいました、「金子地域文化スポーツクラブ」の設立総会が、盛大に執り行われました。設立総会には、金子校区のスポーツ・文化活動に積極的に取り組んでおられる諸団体や、新居浜市としては最初の設立となるところから、県教育委員会保健スポーツ課長や県体育協会からの参加もありました。 ９日　教育委員会の学校訪問が泉川中学校で行われました。２４日角野中学校、２７日 垣生小学校、７月１日 泉川小学校、２日 別子小学校で実施されました。 １０日から１２日まで、市議会本会議一般質問が行われました。今議会では、９名の議員さんから質問がありました。主な質問としては、学習指導要領、教員免許制、子育て人づくり、子どもと見つめる環境への取り組み、補助金公募制度の見直し、地域主導の公民館への取り組み、給食の米の使用や給食費未納者対策、学校における紫外線、熱中症対策等についてがありました。 １３日　市議会の福祉教育委員会が開催されました。 １５日　教育懇談会が別子中学校区で開催されました。また、１６日　西中学校校区、１８日 大生院中学校校区、２４日 東中学校校区、２６日 北中学校校区、２７日 角野中学校校区、３０日 船木中学校校区、７月２日 中萩中学校校区で実施されました。 第１９回四国高等学校ウエイトリフティング選手権大会が新居浜南高等学校体育館で開催されました。 １７日　平成２０年度 県人権教育協議会新居浜支部代表役員会がもたれ、愛媛県人権教育協議会新居浜支部総会の開催要項について審議されました。総会は２７日に開催され、平成１９年度の事業内容の報告や平成２０年度の計画とともに、人権教育に長年関わり功労が認められた青木洋子氏、長岡一路氏、藤田一氏、佐々木徹氏、檜垣マサ子氏、神尾亮吉氏、佐々木豊隆氏、高橋康信氏、森　武則氏の９名が

	表彰されました。 　１９日　本会議が開かれ、委員長報告、討論、採決等が行われました。 　平成２０年度中学生国際交流事業のフランクリン高校生８名と引率教諭のケーニア先生の９名が新居浜市に到着しました。ＪＲの最終便での到着でしたが、ホームステイ先の家族に温かく迎えられ、家路に急いでいました。市内中学校での学校体験や小学校訪問、ステイ先の生徒との体験活動、土・日にはステイ先の家族との生活を楽しみ２５日まで滞在されました。２３日には市長への表敬訪問を行いました。学校生活やホストファミリーとの生活はわずかな時間でしたが、互いに忘れることのできない絆を作ることができたのではないかと思います。２５日の朝、全員元気に広島へ向かって出発しました。ホストファミリーの皆様には大変お世話になりました。子どもたち同士、また家庭同士の相互交流に発展できれば大変素晴らしいことだと思います。ありがとうございました。なお、新居浜市からは１０月２８日にフランクリン市を訪問し、学校生活体験等の交流活動を行います。 　２０日　平成２０年度ふれあい運動会が行われました。新居浜市小・中学校、今治養護学校新居浜分校の児童生徒・保護者の関係者ら２３校の約２３０名が参加し、特別支援学級相互の交流により、友情の輪を広げ楽しい運動会とする目標で行われました。随所に笑顔が見られ、積極的に参加する姿が輝いていました。暑い一日でしたが、体調不良や負傷した人もなく無事終了しました。 　東雲市民プールが開場されました。この日は、１２時３０分から１７時３０分まで無料で開場されました。子ども６９名、大人４名、合計７３名の入場者があり、子どもたちのにぎやかな姿が見られました。事故のない楽しい暑さしのぎができることを願っています。 　２１日　新居浜市環境月間・にいはま環境市民会議アースデイズイベントとして、「ストップザ温暖化キャンペーンＩＮ新居浜」が開催されました。すさまじい勢いで地球の温暖化が進んでいる状況を目の前に示され、わずかなことでも環境について取り組んでいかねばならない思いになりました。 　２２日　第７１回東予短歌大会が開催され、東予各地から約１３０名が参加し、投句されていた句に対して、選者から歌評され厳しい中にも優雅なひと時を過ごすことができました。 　２５日　平成２０年度新居浜市水防訓練が市民プール西側国領川河川敷で行われました。水防工法としてのせき板工、くい打ち積土のう、表むしろ張り、木流し、積み土のう工法等が実施されました。 　２６日　平成２０年度青少年健全育成標語入選者表彰式が執り行われました。最優秀作品として、神郷小学校　川口理沙さんの「地域

	の輪　ひろげて守る　子供の心」、船木中学校　神野彩香さんの「ありがとう　言って言われて　つながる心」が表彰されました。また、優秀作品５点、入選１３点が表彰されました。今年度は各小中高校からの代表として８８作品の応募がありました。これらの標語は、市政だよりの８月号に掲載されるほか、各学校や公民館等に掲示されます。 ２８日　公民館活動リーダー(志縁人)養成塾の開塾式が執り行われました。今年度は３８名の塾生で、平成２１年２月までの期間、講座がもたれます。公民館への地域から求められる役割はますます重要になってきています。これらに対応でき、地域で信頼を得て活動ができるように、「知識」「知恵」「挑戦」の三つの領域にわたって系統的な学習が進められます。 ２９日　第１７回少年拳武道選手権大会が身体障害者チャリティーとして開催されました。 第６回日本語学習者による日本語スピーチコンテストが実施されました。中国、韓国、アメリカ合衆国等の出身者が、初中級７名・中級８名・上級４名が参加し、短期間の学習ではあったと思いますが、ユーモアを交えたすばらしいスピーチを披露してくれました。 その他、7月の主な行事予定について報告を申し上げます。 ４日　船木中学校学校訪問、南中学校校区教育懇談会 ５日　新居浜を明るくする運動大会 ７日　中学生弁論大会・児童生徒を守り育てる日 ８日　ひびき分校学校訪問 ９日　補導委員東予研修大会 １６日　愛媛県市町教育委員会連合会定期総会 １７日　国際交流事前学習会 １８日　公立幼稚園・小中学校第１学期終業式 第６０回県総合体育大会新居浜市選手団結団式 １９日　民間ユネスコ運動の日記念事業 よんでん科学実験フェスタ 特別支援教育講演会（別子記念図書館） ２０日～２４日　第６０回県中学校総合体育大会 ２３日　第４４回新居浜市小学校水泳記録会(宮西・角野) ２６日　子どもと教育を語るつどい(小学校１０時、中学校１４時) ２７日　夏休み親子野外教室(市民の森学習館) ２８日　第６１回愛媛県国語教育研究大会(会場市) ２９日　ＮＨＫ小学校合唱コンクール・第６０回県中学校総合体育大会報告会 ３０日　ＮＨＫ中学校合唱コンクール 以上で、一般報告を終わります。

桒田委員長	ありがとうございました。ただ今の教育長さんの一般報告について何かご質問、ご意見はございませんか。 ウィスコンシン州のフランクリン高校生のお見送りに行ったのですが、皆さんが和気あいあいとされている様子を見て、やっぱり来てもらうというのも大事な体験だなと思いました。 高校生たちは各学校にも行かれたようですが、どういう感じだったのでしょうか。
阿部教育長	私が聞いている範囲では、一日は角野小学校と宮西小学校へ行き、角野小学校では全校生徒と、宮西小学校では６年生と対面したようです。どちらも和気あいあいとしていたという事を聞きました。その２校は、新居浜市の英語学習の指定校で、特区申請している学校なので、普段の英語活動をフランクリンの生徒と一緒にしたという事です。
桒田委員長	実際に体験出来たということですよね。
阿部教育長	はい。
桒田委員長	中学校へも行かれたのですか。
阿部教育長	中学校へは、ホームステイ先の子どもと一緒に各校へ行き、学校生活を過ごしました。愛媛新聞には西中学校の茶室でお茶を点てて日本古来の伝統文化に接している姿が掲載されていました。なお２３日は、ホームステイ先の子どもと一緒に松山市に行き松山城など施設見学をしました。
桒田委員長	来られた方々が日本文化についてかなり詳しいという事を聞きました。
阿部教育長	新居浜市からフランクリンの生徒たちに、おもちゃ図書館きしゃポッポの松山さんにお願いして用意したお手玉を、記念に持って帰って頂きました。ただお手玉の使い方を英語でどう訳すのか、私自身少々悩みました。
宇野委員	学校訪問で、小学校と中学校の授業を見せて頂いています。よく、教育長さんが言われる“わかる授業・楽しい授業”という視点で考えると、小学校の授業は、子どもを主体にした授業というか子どもが活動する授業で、昔の授業とは違っていて授業改善がなされているなと感じます。一方、中学校の授業は、生徒にとって座っているのが苦しいような、少しきつい言い方をしますと先生の為の授業なのか、生徒

	の為の授業なのか疑わしいようなもので、授業改善が進んでいないと感じます。教育長さんだけでなく、次長さんも事ある毎に「授業は子どもたちのためのもの」という事を先生方に繰り返し伝えて頂きたいと思います。 　それと同時に、いわゆる“授業の達人”から学校現場で学ぶような研修をして頂けたらなと思います。力量のある先生はもちろんいますが、小学校には唸るような授業をする、“授業の達人”がいます。私も全校を見た訳ではなく一部ですが、授業改善という視点でいくと、小学校と中学校では大きな開きがあると感じました。
桒田委員長	今は、学校訪問も教育懇談会もまだ途中ですが、現時点でのお気付きの点がありましたらお願い致します。
小野委員	宇野委員さんが言われた通り、先生方の力量・指導力・授業力と言いましょうか、子どもに教えるレベルの格差が、私も見ていて大きいなと感じます。ですから、先生方の力をレベルアップするための研修、素晴らしい力をお持ちの先生から実地で学ぶというような研修をして頂きたいと思います。
宇野委員	不登校という視点で子どもたちの様子を見ると、小学校の子どもは、学校から家庭へ帰って、家族に「今日これしたよ」「これができたよ」「ほめてくれたよ」「頑張ったよ」というように学校での出来事を言えるような子どもたちが多いように思いました。中学校の生徒も、学校での出来事を家族に話したり自慢できることがあれば、「明日も頑張って学校へ行こう」という気持ちになるのかなと思います。
桒田委員長	その他何かございませんか。
太田委員	教育懇談会に何ヶ所か参加させて頂きました。参加者の意見を聞いていますと、教育長さんが毎年何回もお話しされている事をずっと聞いてくれている方からの質問もあり、定着してきていると感じました。いろいろ批判もありましたが、教育に関しての関心が高まってきている感触がありましたし、伝えたい事が少しずつ伝わってきていると感じました。 　ただ、教育委員会から伝える情報が多すぎて、質疑の時間が少ないような気がしましたので、時間配分の工夫が必要かなと思いました。
桒田委員長	ありがとうございました。教育懇談会や学校訪問もまだ残っておりますので、次回の定例会の時にまたご意見等をお伺いしたいと思います。

栗田委員長	続きまして議案第２４号、２５号は人事案件でございますので、新居浜市教育委員会会議規則第３７条の規定により非公開とさせて頂きます。 それでは先に「６のその他」に移らせて頂きます。よろしくお願い致します。
高橋次長	はい、それではお手元に「夢広がる学校づくり推進事業改善（案）」についての資料があると思いますのでご覧下さい。 ＜資料に基づき説明＞
栗田委員長	ありがとうございました。ただいまの件で、ご質問はございませんか。
太田委員	私たちは、プレゼンテーションをお聞きしないで、書類審査をしたらよいのですか。
高橋次長	いえ、プレゼンテーションも聞いて頂きます。プレゼンテーションの段階で点数を付けて頂いて、その後学校側から修正案が出た場合に、点数を変更してもらうというような事を想定しています。
太田委員	２回審査をするという事ですか。
栗田委員長	１回聞いた後に予備審査の様なものをして、その後修正報告を受けた分の書類審査を行うということですよね。確かに予算の点では、変えてもらいたいというのが過去に何回かありましたので、修正案が出てくるのはいいかなと思います。その他にご質問はございませんか。 ８月２９日にプレゼンを受けて、その後修正案が出た後、採点という事ですね。
宇野委員	時間は何時ですか。
高橋次長	１５時からお願いします。
栗田委員長	それでは次の報告をお願い致します。
阿部教育長	お手元にある生徒指導関係の資料をご覧下さい。 ＜資料に基づき説明＞ なぜ、不登校生が昨年よりも増加したかと言うと、あすなろ教室の取り組みが関係していると思います。あすなろ教室は、例年４月８日から活動し始めます。それで２年生や３年生へ進級してすぐ保護者の

	方から希望があり、あすなろ教室へ来ていました。しかし、今年度は学校復帰を促すという事で、４月中は学校へ行く事を勧めるような働きかけをしました。そして、あすなろ教室への入級は、５月１日以降での決定で、学校長の承認をもって認めるという形を取るように致しました。昨年は、あすなろ教室へ来ていた子どもが出席と認められていましたが、今年度はあすなろ教室ではなく学校での出席確認の対応をしてもらったために前年度より増加しています。この数字については、危機感を持たざるを得ないと思います。今の時点で、不登校生の多い傾向の学校については、今後各学校で対応をしていきます。 　平成２０年度５月に３０日以上欠席している子どもについて、中学１年生は減少傾向にあります。平成１９年度３月からどうなっているか見てみますと、小学６年生で中学校へ進級している７名のうちの２名が好転し、授業に参加出来ています。またその内２名が５月１日からあすなろ教室へ来ているという状況です。そして平成１９年度３月末に１年生で不登校であった生徒２名が好転してきています。そのうちの１人は１１９日欠席していましたが、今は学校へ登校しています。２年生で好転した生徒も４名おります。 　平成１９年度１００日以上欠席していた生徒で、今年度欠席が３０日以下になった生徒は、２年生が１人、３年生が７名です。逆に、昨年不登校ではなかった生徒で、今年度に入って３０日以上欠席し不登校傾向にある生徒が、中学１年生が１名、２年生が３名、３年生が５名です。 　そういう事で、復帰している子どももいますし、新たに不登校になった子どももいるという事で、昨年と同じような数になっております。
桒田委員長	好転した生徒と新たに不登校になった生徒がいるという事ですね。
阿部教育長	具体的に言いますと、小学校６年生の時に１２５日欠席した子どもが中学校に入って欠席０という子もいます。そして６年生で６６日、５年生で６３日欠席していた子どもが中学校に入学して４月・５月は欠席０になっています。ただし、校区指定されていない学校で立ち直っています。
太田委員	２人とも転校して登校出来るようになったのですか。
阿部教育長	いいえ、１人です。もう１人は地元の中学校に行っております。
太田委員	その理由の分類はどういう子どもさんだったのですか。

阿部教育長	「学校生活上の影響」「無気力」「不安等の情緒的混乱」「意図的」だった生徒が校区外の中学校に行って好転しました。そしてそのままの校区の中学校に入学した子どもの理由は「不安等の情緒的混乱」です。 実は今日、不登校対策委員会を開きますので、その辺りを煮詰めていこうかと思っております。 次に、いじめに関する報告の資料をご覧下さい。 ＜資料に基づき説明＞ 現在は、学校の対応でいじめは全て解決しています。 続きまして不審者情報ですが、４月に１件、６月に１件で、１学期は今のところ２件です。やはり地域の見守り隊、又は防犯パトロール中というステッカーを車に貼ってくれている地域の方のおかげだと思います。
栗田委員長	ありがとうございました。今のところ、１６年からの統計で１番少ないので、このまま行って、どうか年間件数が２桁にならないように願いたいです。何かご意見はございませんか。 不登校についてですが、どこの学校もパーセントで見ると、１９年度末より減っていますね。 あすなろ教室の問題なのですが、学校復帰を促す体制のため、学校に戻れなくて、あすなろ教室にも行けないというような子どもはいませんか。子どもの居場所が無くなってしまう可能性があるかもしれませんので、その辺りが心配です。 あすなろ教室の人数があまりにも多いのでびっくりしました。１５人ぐらいだったのが３０人ぐらいになっていますね。
阿部教育長	それは年度末の数です。現在は１５～６名だったと思います。
栗田委員長	２～３年ぐらい前もこどもの居場所づくりという点で、あすなろ教室だけではちょっとしんどいかなと思いました。その子によって状況が違うので、不登校の理由が「不安」である子の中に「遊び」の子が入ると大変なところもあると思います。１学期の状況を見て考えたいと思います。 それでは次、お願い致します。
日野総括次長	以前、教育三法の概要について、説明させて頂きました。その中の一つとして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、教育委員会の責任体制を明確化するという事から教育委員会は学識経験者の知見を活用して、活動状況の点検・評価を行うという内容です。これにつきましては教育委員会が毎年教育長に委任した事務

	も含め、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自ら点検及び評価を行うとされまして、その結果に関する報告書を作成して議会に提出するという内容です。これまで教育委員会事務局の中で検討した内容についてですが、対象は１９年度事務事業についての評価で、学識経験者につきましては大学の教授等に依頼するという事を検討しております。公表の時期・方法につきましては、１２月の定例会にて報告したいと考えております。また市民への公表も行う予定です。 　以上、取り組みの経過をご説明させて頂きましたが、愛媛県でも点検評価についての方針が決定されたという通知もありましたので、新居浜市におきましては、来月の教育委員会定例会にてご報告させて頂きたいと思っております。
栗田委員長	評価表など資料として用意して頂けるのでしょうか。
日野総括次長	１２月の議会での報告となりましたら、報告書そのものは、準備の関係で１０月か１１月になると思います。次回の教育委員会定例会でまた詳しくご説明させて頂きたいと思います。
栗田委員長	資料がないので、ちょっと分かりにくいのですが、実際どんな点を評価するのか項目のようなものがわかれば、次回見せて頂きたいと思います。
日野総括次長	わかりました。評価表の見本をお持ちします。
栗田委員長	よろしくお願い致します。では次お願い致します。
坂本図書館長	図書館から学校図書館支援推進事業についてご報告致します。お手元の資料をご覧下さい。前回、船木小学校の図書館を改装するという報告を致しましたが、６月８日、９日に作業を行いました。写真にありますが、改装前は古い本と新しい本が混在していました。１日１０人程度の利用しかなかったようです。利用できる時間帯は、主に昼休みだったようです。写真ではわかりにくいかもしれませんが、実際には古い本がゴチャゴチャしていて、入口も図書館か教室かわからないような感じでした。５月頃から支援員４名が不必要な本の選別をして抜きだしたり、新たに必要な本を赤木かん子さんの指導のもと選書しました。新しく入ってくる本は、麻糸で綴じ直したり、ビニールコートをかけるなどして強度を高めました。約１８０冊の本が新しく入りました。６月８日に教職員と図書館職員の約３０名で、掃除をしました。本を全部廊下に出し、天井や電球も拭きましたので、とても明る

	くなりました。６月９日には、ＰＴＡの協力も得て、本の内容を絵で示すシールを本の横に貼りました。例えば、絵本ならりんご、恐竜の本には恐竜のシールといったように、シールの絵と本の内容が合うように分類致しました。これからは子どもたちが本を読んで自分達で返せるようになると思います。 　また、書架の方向を変えて、古い本は後ろの書架に置きました。新しい本は、前の書架に表紙を見せるように置くようにしました。本が借りられたら後ろの書架から本を出して置くように支援員さんがしてくれています。 　完成して最初の１週間ぐらいは児童たちが見学に来て、１０日後ぐらいから徐々に貸出しを始めました。昼休みに来る児童数は８～１０名だったのですが、７０～８０、１００、多い時は１５０名ぐらいが来た時もありました。児童たちはとても喜んだ様子で、真剣に本を読んだり、借りて帰るようになりました。 　その他に、学校の方からお話し会をして欲しいという要望がありましたので、本の紹介や読み聞かせなどをしています。今は、定期的に支援員さんが学校へ行き、本の貸し出しを行っています。 　他の学校については、徐々に団体貸出し、授業に使う本を探して持ってきて欲しい、また本の整理を手伝って欲しい等の要望がありますので、その都度対応しています。船木小学校のような大改造をするのはなかなか大変なのですが、希望のある学校からしていきたいと思っております。現在、角野小学校と垣生小学校から要望がきています。 　この事については、愛媛新聞に大きく取り上げて頂き、反響があります。テレビ局も取材に来られました。支援員さんの活動の様子や子どもたちが図書館を利用している様子が映ると思いますので、よかったらご覧下さい。 　それともう一つ、夏休み子ども探検隊は７月２４日の午前１０時から実施致します。これは一昨年前から始まりまして３回目になります。図書館の探検をしたり仕事を体験したり見てもらったりしていましてとても好評で、今のところ１２組の申し込みがあります。これは７月１８日が締め切りですので、たぶんいっぱいになると思います。お知り合いの方がおりましたらご紹介して頂けたらと思います。
桒田委員長	ありがとうございました。お世話になりました。私と宇野委員さんで船木小学校を見せて頂きましたが、本当に明るい印象で子どもたちが喜びそうだなと思いました。資料の写真のように、改装前はシーンとした様子だったのが、改装後はにぎやかな感じが伺えるようになりました。 　本も背表紙ではなく表紙を見ると、こんな本かなとイメージしやすいですし、子どもたちがたくさんの本を借りているのもわかりました

	ので、本好きになってもらえたらなと思います。
宇野委員	やっぱりプロは違うなと思いました。
栗田委員長	他の学校の図書館を見ると、改装前のような状態のところばかりだったので、できればこのような楽しめる図書館にして頂けたらなと思います。机に布一枚掛けるだけでも違いますし、子どもたちが楽しそうですので、本当によかったと思います。これから取りかかる垣生小や角野小の日程が決まりましたらお知らせ下さい。
近藤体育文化課長	体育文化課からお知らせですが、第２９回北京オリンピック競技大会で、新居浜市出身者等のご報告をさせて頂きます。ご存知の通り、北京オリンピックは８月８日～２４日まで１７日間で実施されます。競技種目は、２８競技で３０２種目です。その中で新居浜市の関係選手は２人おりまして、レスリングのグレコローマンスタイル８４キロ級で一宮運輸株式会社所属の松本慎吾選手です。松本選手は２００２年アジア大会優勝や２００４年アテネオリンピック７位、全日本選手権では９連覇中という事で、国内では敵無しといった状況です。今回北京オリンピックでもメダルが期待される選手でございます。 もう一人が選手ではないのですが、競泳の選手団で平泳ぎの末永悠太選手のコーチである八塚昭典氏です。コーチは新居浜市立北中学校卒業で法政大学水泳部の監督兼コーチです。八塚さんと松本さんが北京オリンピックに出られます。７月１１日から応援の懸垂幕を郷土美術館にかけるようにしておりますので、競技が始まりましたら応援をお願い致します。ちなみにレスリングは、８月１２日から１４日の間競技されるようになっております。以上です。
栗田委員長	ありがとうございました。どこかに集まってテレビを見ながら一緒に応援するというような予定はないのでしょうか。
近藤体育文化課長	残念ながら、今のところ特に予定はございません。
栗田委員長	わかりました。では皆さん個々で応援をよろしくお願い致します。その他何かございませんか。無いようですので、非公開の審議に入ります。 その前に、来月の定例会の日程を決めたいと思います。次回は８月７日の木曜日１６時３０分からウィメンズプラザで開催いたします。 これをもちまして、第７回新居浜市教育委員会定例会を一度閉会致します。ありがとうございました。

	＜非公開により審議＞ 新居浜市教育委員会会議規則第５４条の規定により署名する。 委員名 委員名